

スキルアップカリキュラム (基本研修)

2012年8月
新潟地域型住宅協議会

次第

- ネイティブハウスの仕様について
- 検査及び住宅履歴について
- 補助金限度額と配分方法について
- 補助金申請までの流れ
- 申請サポート費用
- 相談窓口

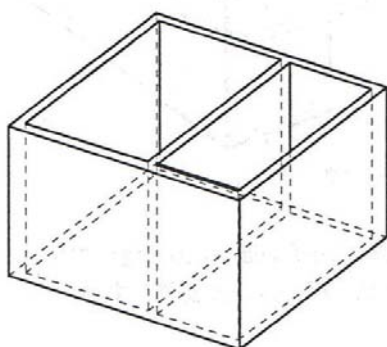
ネイティブハウスの仕様について

- ネイティブハウスマニュアル3.(1)
生産に関する共通ルール
- ネイティブハウスマニュアル別紙1
構造の性能・仕様について
- ネイティブハウスマニュアル別紙2
温熱の性能・仕様について
- ネイティブハウスマニュアル別紙3
その他の性能・仕様について

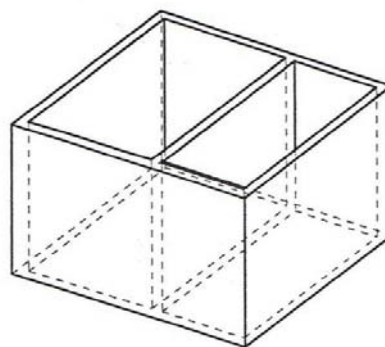
上下階の耐力壁は基本的に一致させる。

上下階の耐力壁は、原則的に同じ耐力壁線上に設けます。
つまり上下階の耐力壁線は、原則的に上下階で一致するように計画します。
(3階建ての場合も同様の考えとする。)

総2、3階の場合：1

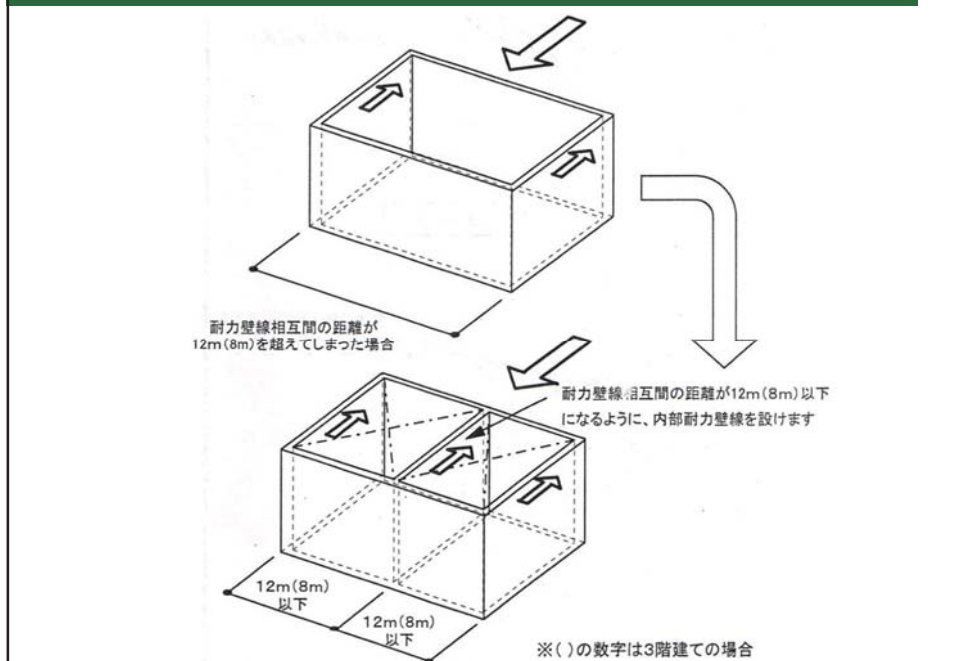


下階



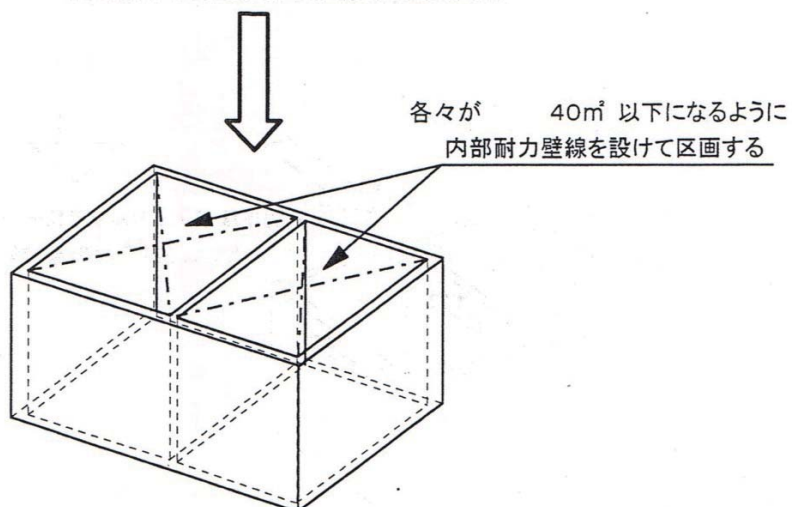
上階

耐力壁線相互間の距離は12m以下とする。



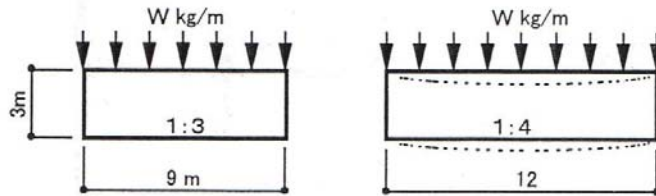
耐力壁線で囲まれる部分の面積は40㎡以下とし、原則的に矩形とする。

耐力壁線で囲まれる部分を耐力壁線区画と呼びます。
耐力壁線区画は原則的に、矩形(4角形)として、その面積が40㎡以下になるように、建物を区画します。



耐力壁線区画の形状比は1/3以上とする。(正方形に近い形状にする)

耐力壁線区画の形状比は1:3より正方形に近い形状にします。
 耐力壁線区画が、あまり細長い形状になると、ある方向の水平力に対して、弱い区画になってしまうので、これを防ぐ為の規定です。



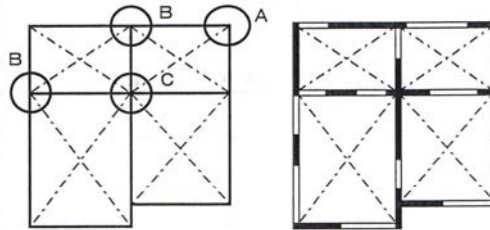
① 3mの梁せいに対して
9mのスパンの梁

② 3mの梁せいに対して
12mのスパンの梁

①より②のほうが、たわみ易く、曲がり易い
 また両端の辺(下階の耐力壁線)にかかる力
 も大きい($9 Wkg < 12 Wkg$)

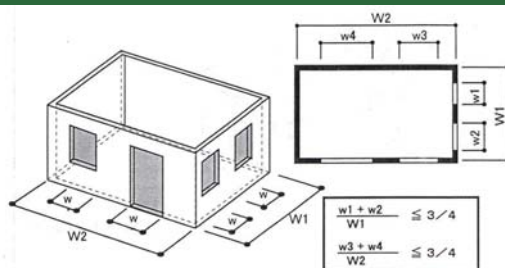
耐力壁線の端部及び交差部には910(1000)以上の耐力壁を設ける。

耐力壁線の交差部分には上階からの鉛直荷重、及び水平荷重がかかってきて、回転力が起きたり、引抜き力が起きたりします。
 この力に対応する為に、交差部には耐力壁を必ず設けます。



	理想形	準理想形			最低可能形		
Aタイプ							
Bタイプ							
Cタイプ							

耐力壁線上の開口部の幅の合計はその耐力壁線の長さの3/4以下にする。

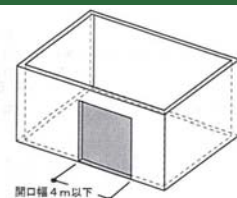


耐力壁線のズレが910(1000)を超える場合

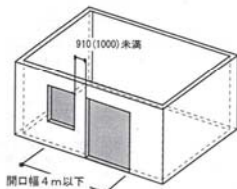
耐力壁線のズレが910(1000)以下の場合



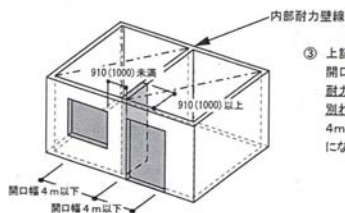
耐力壁線の最大開口幅は4m以下とする。



① 原則として耐力壁線上の1つの開口部の最大幅は4m以下とします。



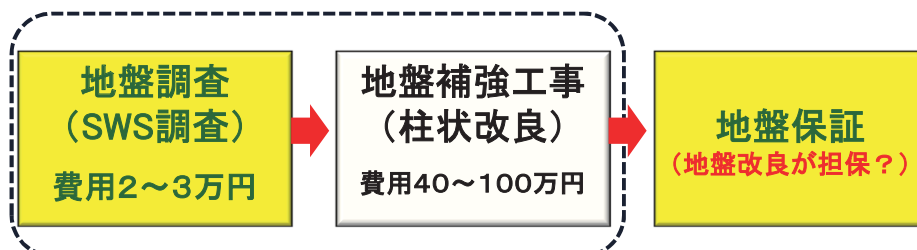
② 複数の開口部が並ぶ場合その間の壁が、910(1000)未満の場合(耐力壁とみなせない場合)その複数の開口部を1つの開口とみなして、合計の幅で4m以下の規定が適用されます。



③ 上記の場合であっても、その開口部の間で、直行方向に耐力壁線があって、区画が別れている場合は、各々で4m以下になっていれば良い事になります。

従来の地盤調査、地盤改良

まるでセット販売！



なぜか改良
工事が必要
です



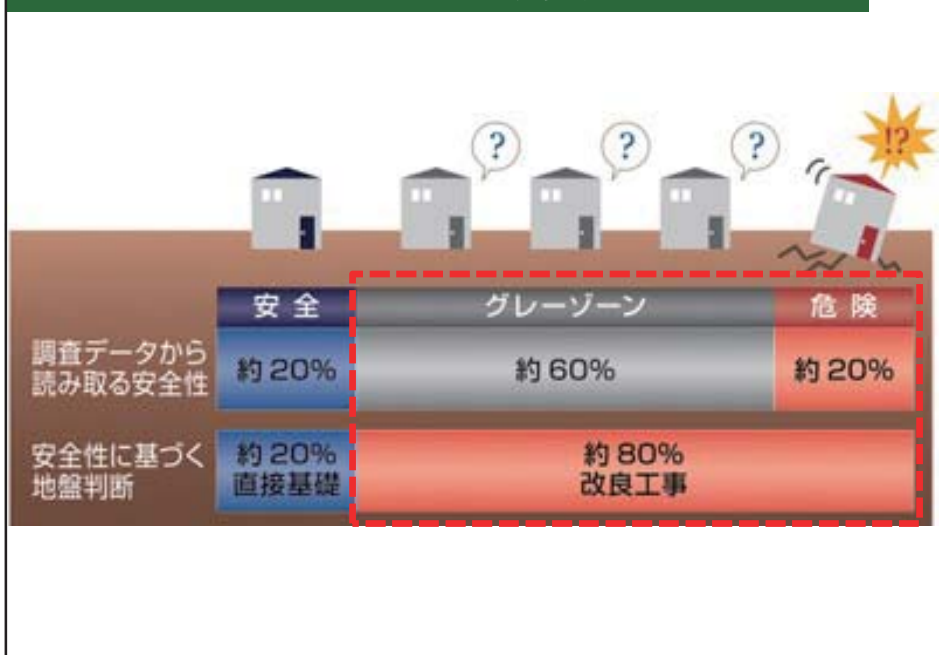
設計者

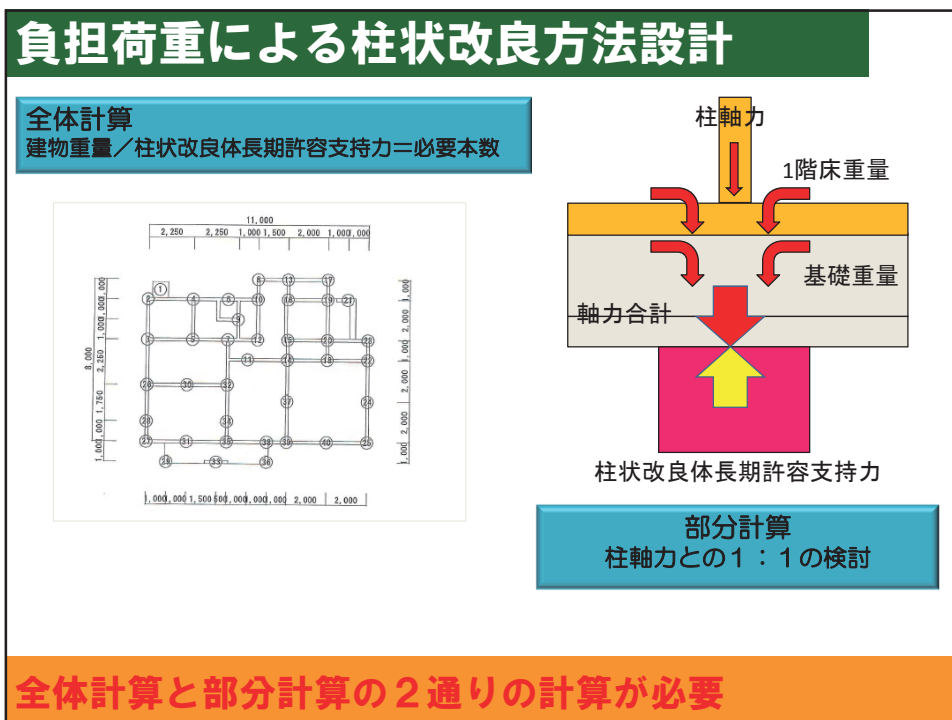
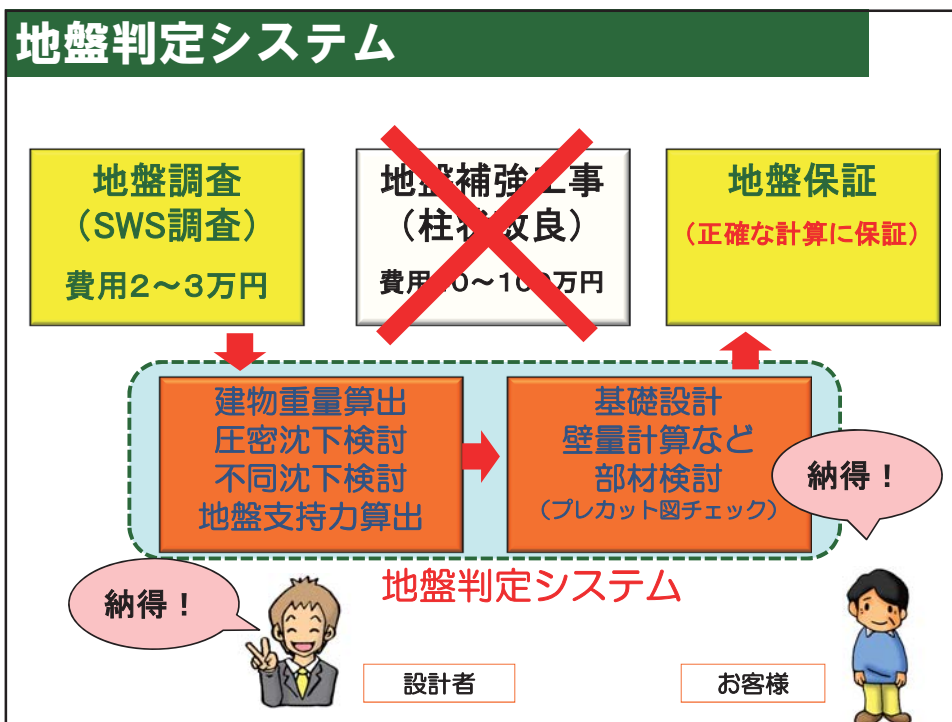


お客様

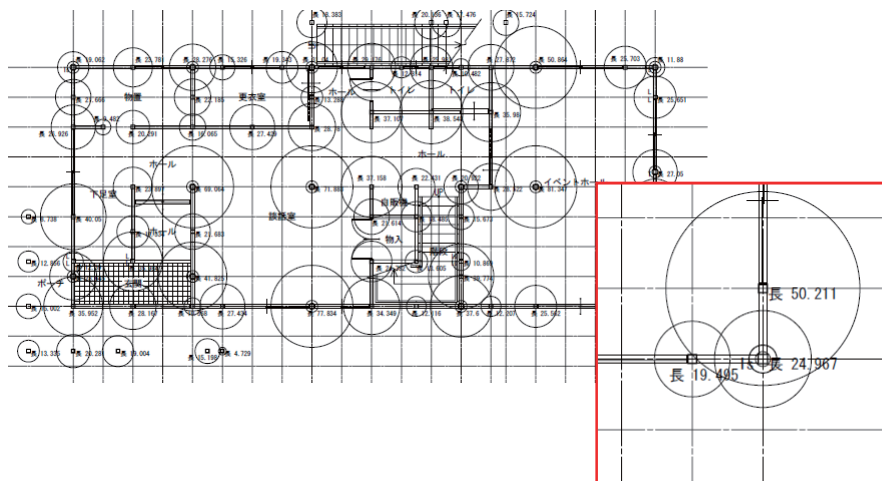
建替えなのに
何で地盤改良？
改良しないと
地盤保証なし？

従来の地盤調査、地盤改良



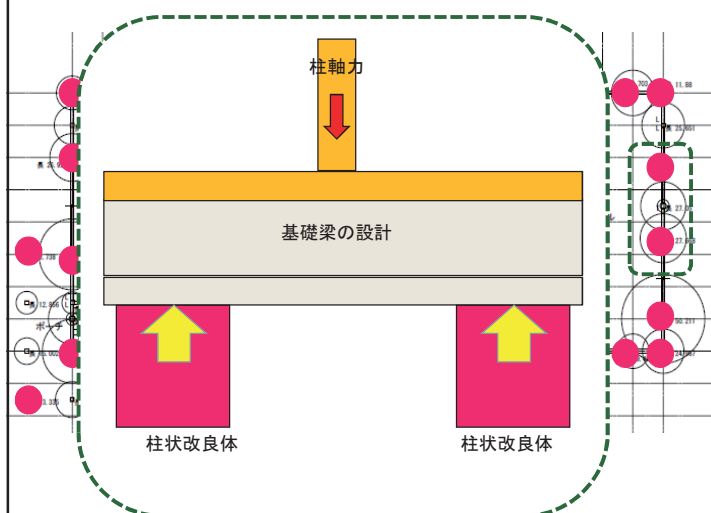


負担荷重による柱状改良方法設計

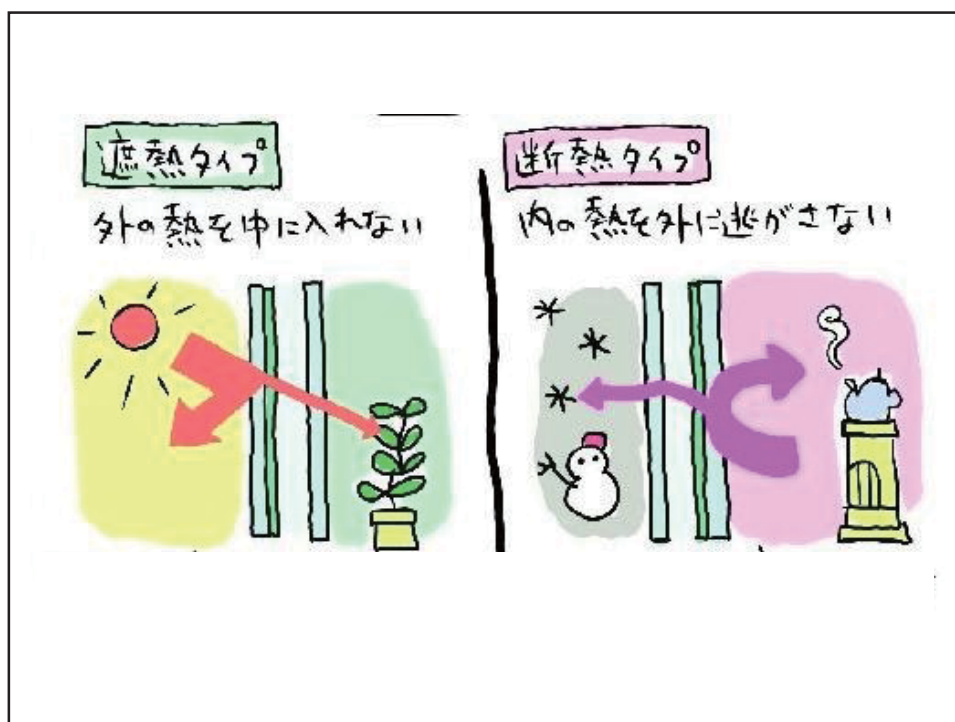
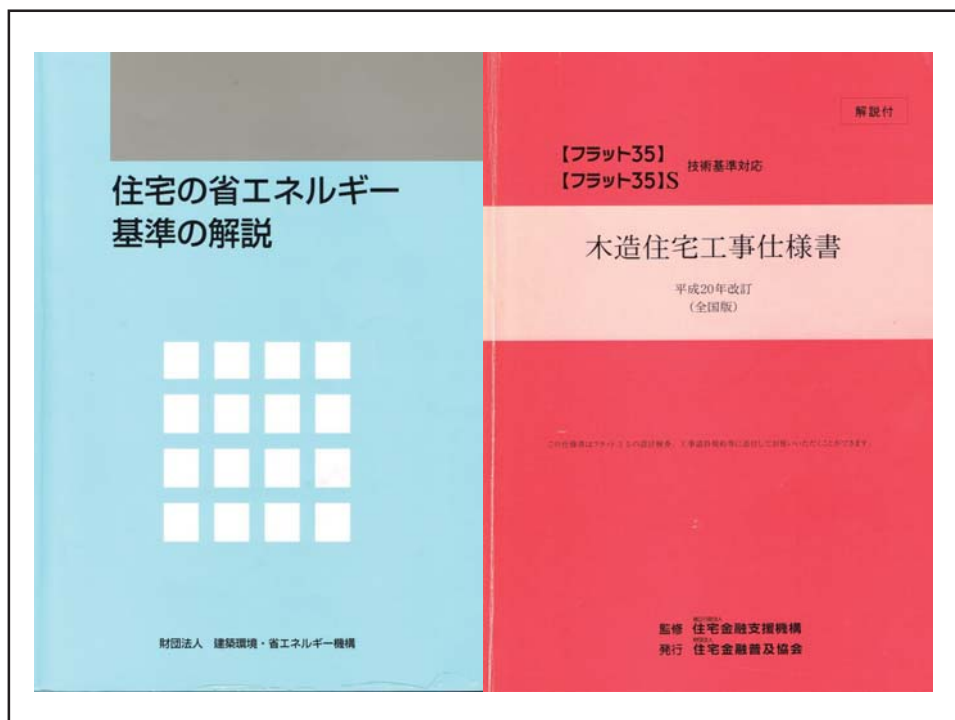


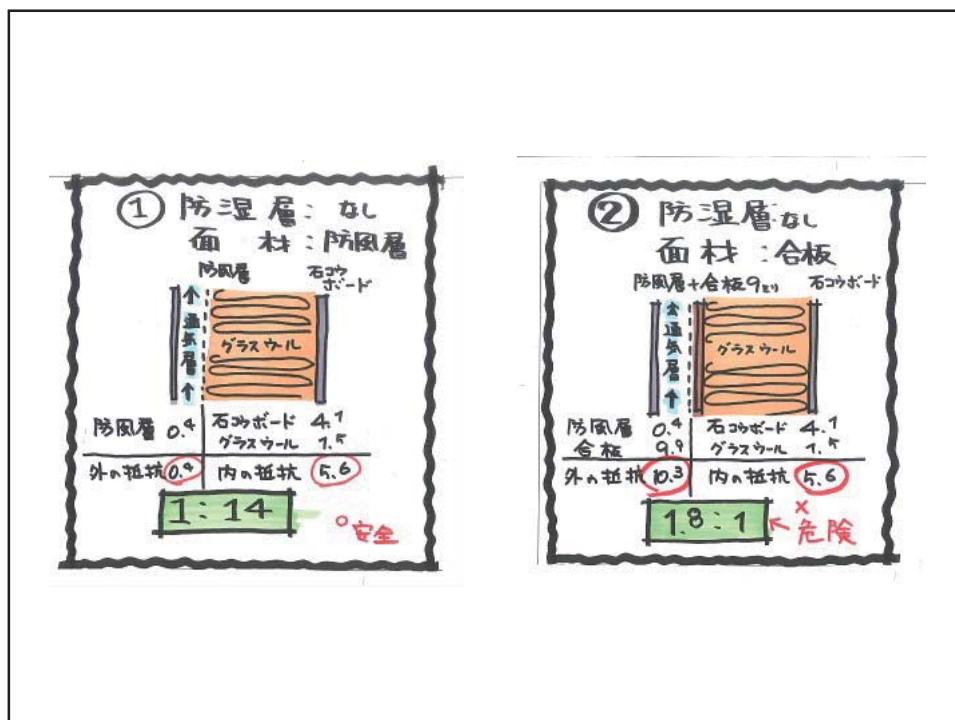
軸力ごとに柱状改良を設計

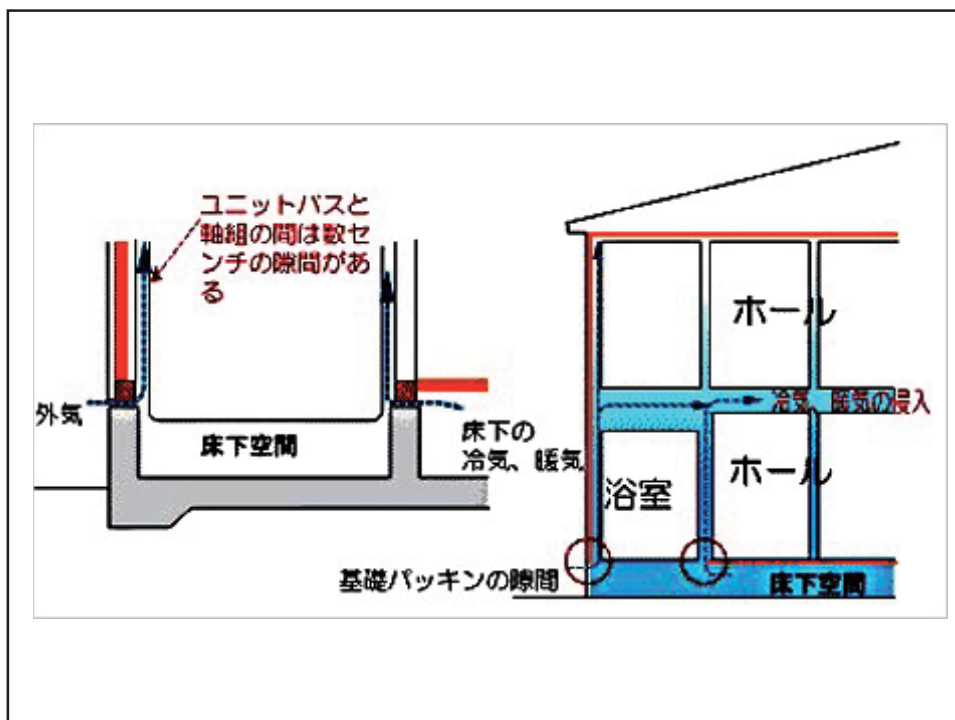
負担荷重による柱状改良方法設計

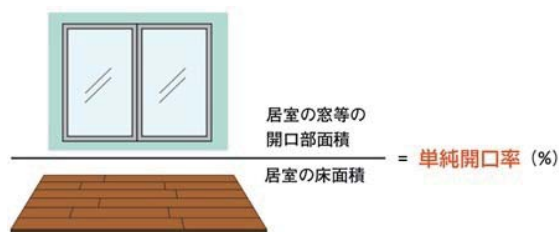


軸力ごとに柱状改良を配置→基礎設計









(例) $13.25\text{m}^2(8\text{帖}) \times 0.2 = 2.65\text{m}^2$
 16509サッシの面積は 1.485m^2
 $1.485(\text{m}^2) \times 2(\text{個所}) = 2.97\text{m}^2$
 $2.97\text{m}^2 > 2.65\text{m}^2$

$2.97(\text{m}^2) \div 13.25(\text{m}^2) = 0.224$
 つまり22.4%の単純開口率

ネイティブハウスの仕様について

- 補助金申請申込をされる以前に、**事前チェック**を受けていただきます。
- ネイティブハウス **チェックリスト**とその**内容が確認できる図面、書類**等を事務局にメールにてデータを送信してください。(大容量メール送信ツールなどを用いることをお勧めします。また、メール以外で送信される場合は事前にご相談ください)

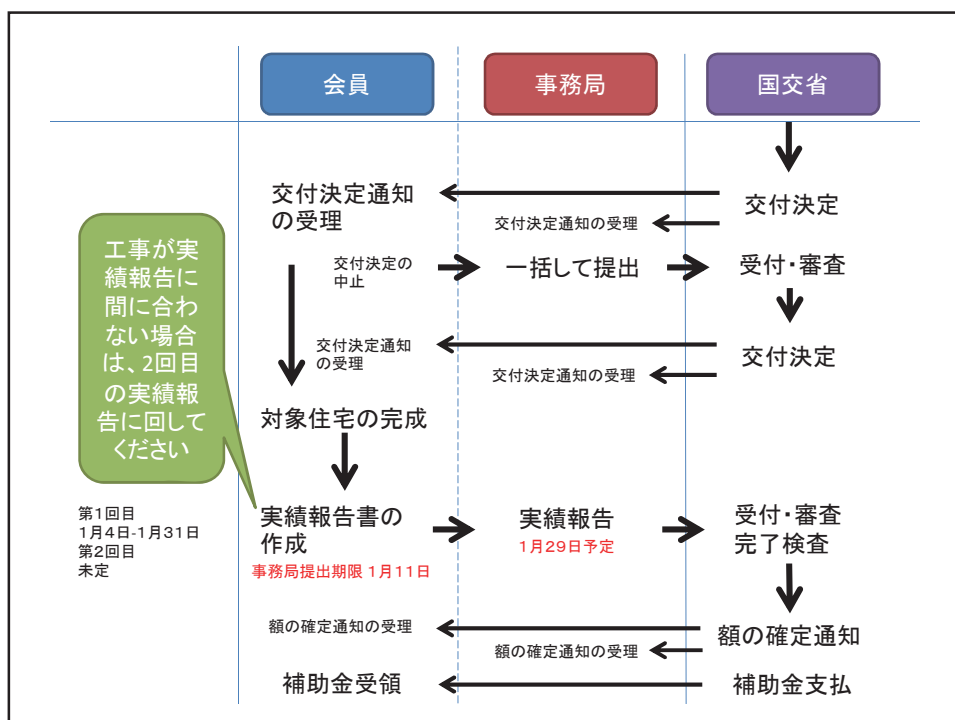
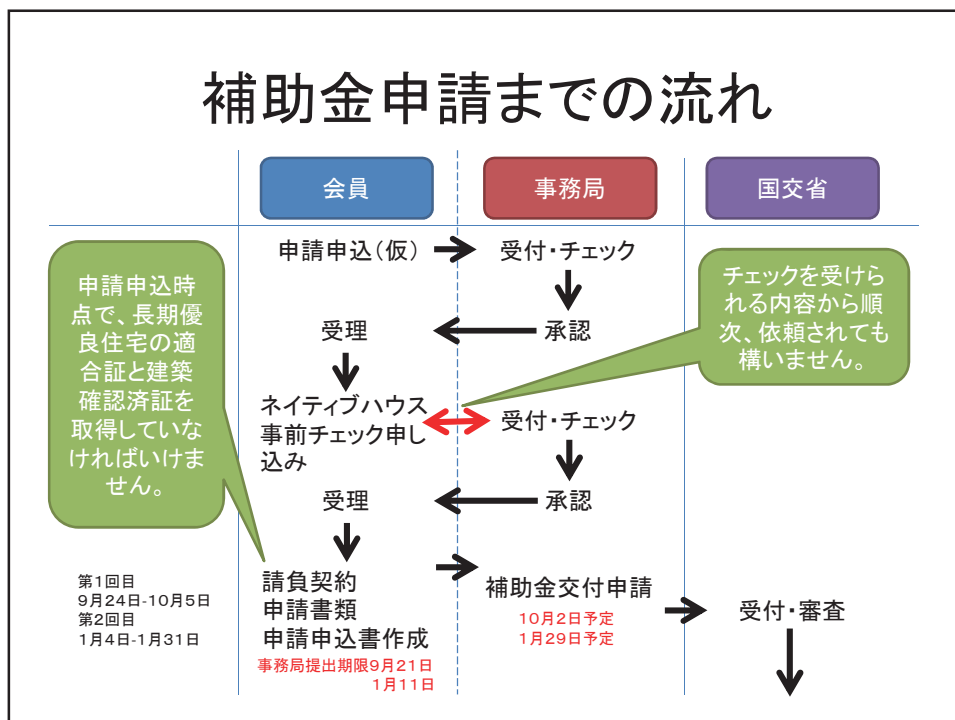
検査及び住宅履歴について

- ネイティブハウスの施工にあたっては、第三者機関による現場検査に合格してください。
- ネイティブハウスのお引き渡し後の住宅履歴情報の管理については、第三者機関に管理を委託してください。

補助金限度額と配分方法について

- 補助金の限度額は100万円とします。
- 当協議会では48戸の補助金申請を行います。
- 原則として1社1棟までを受け付けます。
- 2012年12月1日以降は、1社1棟の枠を撤廃し、申請を受け付けます。

補助金申請までの流れ



相談窓口及び申請書類等送付先

- 新潟地域型住宅協議会事務局 鈴木淳
〒951-8061
新潟市中央区西堀通三番町799番地
西堀カメリア902号室((株)M's構造設計内)
TEL.025-226-8118
FAX.025-226-8117
mail suzuki@ms-structure.com